

宮崎空港の国際定期便（ソウル線、台北線）を利用した海外教育研修等交流事業を支援します！

宮崎空港を発着する国際定期便（ソウル線、台北線）を利用して、県内の小・中学校、高等学校等が海外教育研修等交流事業を実施する場合、児童・生徒の人数に応じて、交流活動に要する経費の一部を助成します。

〈グローバル人材育成海外教育研修等交流補助事業〉

<p>(基本額)</p> <p>児童・生徒50名までは 1人当たり1万円 50名を超える人数 1人当たり5千円 (上限額：120万円)</p>
<p>(加算額)</p> <p>① 宮崎～ソウル・台北間を往復利用する場合 1人当たり2千円を加算（上限額：20万円）</p> <p>② ソウル・台北から、国際定期便を乗り継いで韓国・台湾以外の国に行く場合 1人当たり2千円を加算（上限額：20万円）</p>
<p>(例)</p> <p>① 60名で宮崎～ソウル間を往復利用し、韓国に行く場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本額 50名まで 50万円（1万円×50名） 50名超 5万円（5千円×10名） ・ 加算額 往復利用 12万円（2千円×60名） <p style="text-align: right;">計 67万円</p> <p>② 80名で、宮崎～ソウル間を往復利用し、ソウルから乗り継いでオーストラリアに行く場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本額 50名まで 50万円 50名超 15万円（5千円×30名） ・ 加算額 往復利用 16万円（2千円×80名） 乗り継ぎ 16万円（2千円×80名） <p style="text-align: right;">計 97万円</p>

注1) 交流事業等の渡航先（目的地）は、全世界が対象です。

注2) 添乗員、教職員、保護者は人数に含まれません。

注3) 事業終了後、事業概要を広く周知していただくようお願いします。

詳しくは、下記事務局にお問い合わせください。

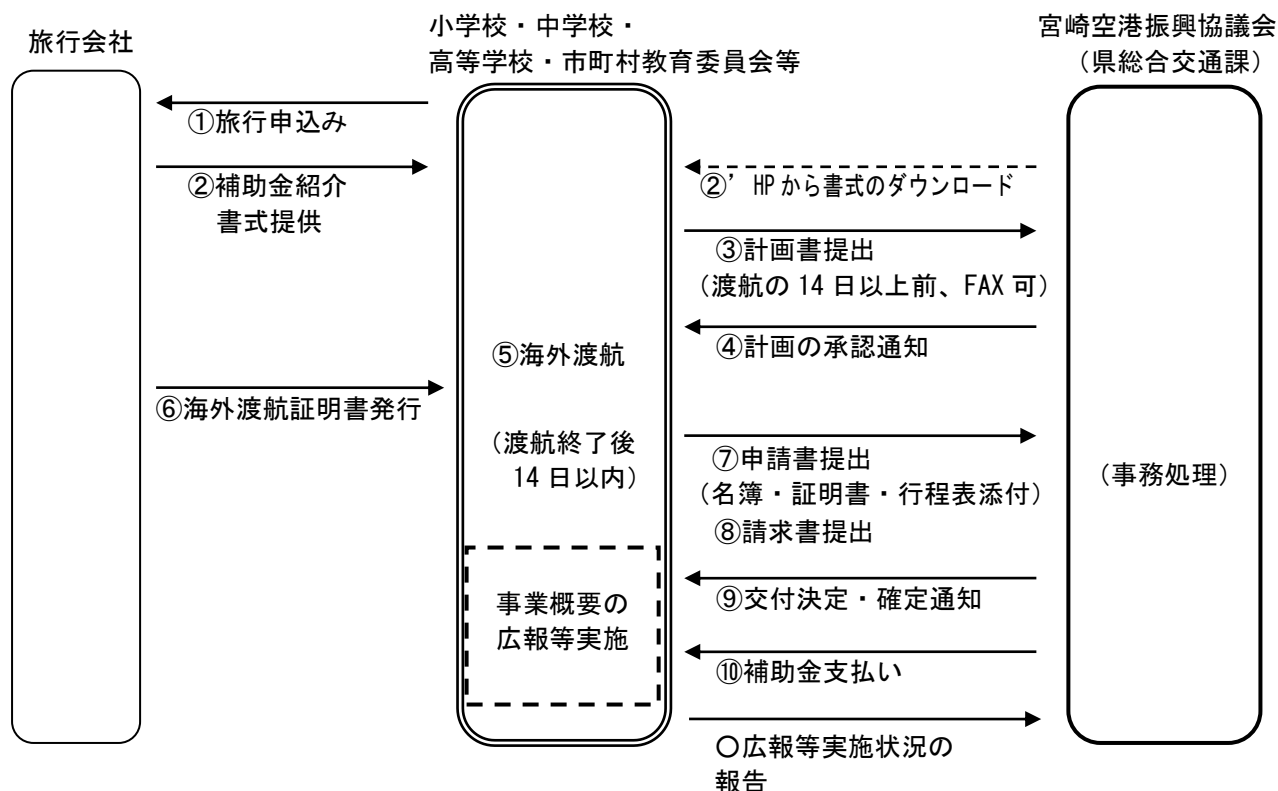
また、補助金の申請書式は、下記のホームページからダウンロードできます。

○宮崎空港振興協議会／

事務局 〒880-8501 宮崎市橘通東2-10-1 宮崎県総合政策部総合交通課内

TEL:0985-26-7038 FAX:0985-24-1383 URL <http://www.miyazaki-apc.jp>

■ グローバル人材育成海外教育研修等交流事業補助金の申請手続きと注意事項



(注意事項)

- ① 補助金の積算の対象は児童・生徒に限ります。添乗員、教職員、保護者等その他の同行は対象となりません。
- ② 補助金の振込先は、原則として学校又は団体名義の口座とします。
- ③ 渡航終了後 14 日以内に当該年度の 3 月 31 日を迎える場合は、申請書の提出期限は、3 月 31 日とします。※帰国日が 4 月 1 日以降になる渡航は対象となりません。
- ④ 対象となる海外教育研修等交流事業は、以下のとおりです。
 - ア 県内の学校（学校教育法に定める小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校をいう。）が主催する修学旅行等の海外研修事業、国際交流事業
 - イ 県内各市町村教育委員会が主催し、県内の児童・生徒が費用を全部又は一部を自弁して参加する海外研修事業、国際交流事業
 - ウ 内容・趣旨等がア、イに準じる事業で、特に認める事業
- ⑤ LCC を利用して渡航する場合は、航空運賃（燃油サーチャージ及び空港使用料を除く。）が片道 20,000 円を超える場合のみ対象となります。

※ 申請書式は、宮崎空港振興協議会ホームページ (<http://www.miyazaki-apc.jp>) でダウンロードできます。

別記

記入例

様式第1号（第5条関係）

グローバル人材育成海外教育研修等交流事業計画書

〇〇年〇月×日

渡航の14日前までに提出

宮崎空港振興協議会会長 殿

住所 宮崎市〇〇町〇〇番地

申請者 電話番号 〇985-xx-xxxx

学校(教)名 学校法人〇〇学園

△△△△高等学校

グローバル人材育成海外教育研修等交流事業補助金交付要綱に基づく 年度グローバル人材育成海外教育研修等交流事業について、下記のとおり実施を計画していますので、同要綱第5条第1項の規定により計画書を提出します。

計画内容	渡航先 (該当欄に○)	台湾 (経由地)	
		→ 台湾を経由して他の国・地域に渡航する場合は、「最終目的地名(経由地 台湾)」とすること。	
		ソウル、台北線の利用	往路のみ・復路のみ・往復
		仁川空港、桃園空港での乗継	有・無乗継航空会社
	出入国日時及び便名	出国： 〇〇年〇月〇日(水) 18時00分 宮崎空港発 便名：CI115 帰国： 〇〇年〇月△日(土) 17時00分 宮崎空港着 便名：CI114 ↑ 定期便を片道利用の場合、出入国の空港及び発着時間を記入。福岡空港経由で帰る場合は「〇時△分福岡空港着」	
	行程 (別紙でも可)	宮崎空港→桃園空港→新竹→高雄→桃園空港→宮崎空港	
	参加人数	児童・生徒 60人 引率者等 4人 計64人 ← 予定人数	
交流の内容	現地歴史・文化施設の見学、姉妹校との交流会等		
広報計画	(広報誌、ホームページ、SNS等)に掲載予定		
交流費用の見込み ※ 児童・生徒が自弁する費用に限る。	渡航費用 交流活動費用 合計	@90,000円×60人 ↑ 補助金がなかったときの自己負担額 5,400,000 円	
担当者名	〇〇	取扱旅行会社名	(株)〇〇社宮崎支店 (担当者 日向)

※ 計画書の提出はFAX送信可（宮崎空港振興協議会事務局 FAX:0985-24-1383）

※ 渡航開始の前日から起算して14日前までに提出すること。

グローバル人材育成海外教育研修等交流事業補助金交付申請書

〇〇年〇月〇日

渡航終了後14日以内に提出

宮崎空港振興協議会会長 殿

住所 宮崎市〇〇町〇〇番地
 申請者 電話番号 〇985-xx-xxxx
 学校(教)名 学校法人〇〇学園
 △△△△高等学校
 代表者名 校長 宮崎 太郎 ㊟

↑ 私立学校の場合は理事長名でも可

グローバル人材育成海外教育研修等交流事業補助金交付要綱に基づく平成 〇〇年度グローバル人材育成海外教育研修等交流事業補助金については、下記のとおり事業を実施しましたので、 〇〇円を交付されるよう同要綱第6条の規定により申請します。

↑

補助金額の計算は別紙の算定方法で計算すること。わからない場合は、宮崎空港振興協議会事務局に問い合わせいただくか、空欄で提出ください。

計画内容	渡航先 (該当欄に○)	台湾 (経由地) → 台湾を経由して他の国・地域に渡航する場合は、「最終目的地名(経由地 台湾)」とすること。 ソウル <u>台北線</u> の利用 往路のみ・復路のみ <u>往復</u> 仁川、桃園空港での乗継 有 <u>無</u> 乗継航空会社
	出入国日時及び便名	出国： 〇〇年〇月〇日(水) 18時00分 宮崎空港発 便名：CI115 帰国： 〇〇年〇月△日(土) 17時00分 宮崎空港着 便名：CI114 ↑ 定期便を片道利用の場合、出入国の空港及び発着時間を記入。福岡空港経由で帰る場合は「〇時△分福岡空港着」
	参加人数	児童・生徒58人 引率者等4人 計62人 ← 実際の参加人数
	交流の内容	現地歴史・文化施設の見学、姉妹校との交流会等
	広報の内容	〇月に(広報誌、ホームページ、SNS等)に掲載(予定)
	交流費用の見込み※ 児童・生徒が自弁する費用に限る。	渡航費用 交流活動費用 合計

添付資料 1 参加者名簿(児童・生徒及び同行する教職員、保護者等を含む。)

※ 参加者名簿は計画時でなく、実際の参加者に一致すること

2 利用した旅行会社の発行する海外渡航証明書(別記様式第3号の2)

3 海外渡航に係る行程表

※ 渡航終了後、14日以内に提出すること。ただし、14日以内に当該年度の3月31日を迎える場合は、3月31日までに提出すること。

海外渡航証明書（旅行会社用）

〇〇年〇月●日

宮崎空港振興協議会会長 殿

旅行代理店の会社ゴム印・代表者印

↓

住 所 宮崎市〇〇通××番地
会 社 名 (株)〇〇社宮崎支店
代表者名 支店長 日向 太郎 ㊟
TEL 0985-××-〇〇△△

下記の学校（教育委員会）については、当社の取扱により下記日程のとおり旅行し、交流活動を行ったことを証明します。

記

学校（教育委員会）名	学校法人〇〇学園 △△△△高等学校
人 数	62 名（別紙渡航者名簿のとおり） ↑ 実際の参加人数
渡 航 先	台湾
渡 航 日 程	出国： 〇〇年〇月〇日（水） 18時00分 宮崎空港発 便名：C I 1 1 5 ----- 帰国： 〇〇年〇月△日（土） 17時00分 宮崎空港着 便名：C I 1 1 4 ↑ 定期便を片道利用の場合、出入国の空港及び発着時間を記入。福岡空港経由で帰る場合は「〇時△分福岡空港着」
旅行代理店 担当者名	日向 花子

グローバル人材育成海外教育研修等交流事業補助金交付請求書

年 月 日

日付は空欄で（当方で記入）

宮崎空港振興協議会会長 殿

住所 宮崎市〇〇町〇〇番地
 申請者 電話番号 〇 9 8 5 - x x - x x x x
 学校(教委)名 学校法人〇〇学園
 △△△△高等学校
 代表者名 校長 宮崎 太郎 ㊟
 ↑ 私立学校の場合は理事長名でも可

日付や文書番号は空欄で（当方で記入）

↓

年 月 日付け宮空振第 号で交付決定及び交付額の確定のあった
 年度グローバル人材育成海外教育研修等交流事業補助金については、グローバル人
 材育成海外教育研修等交流事業補助金交付要綱第10条の規定により下記のとおり請求
 します。

記

1 交付確定額

円

2 請求額

円

金額は当方で記入

金融機関名	(振込銀行) 〇〇銀行 (支店名) △△支店
預金種目	普通
口座番号	1 2 3 4 5 6 7
フリガナ 名 義 人	ガッコウホクシン〇〇ガクイン 学校法人 〇〇学園

↑ 学校名又は学校法人名の口座